

ツーリングシーズンに突入!! さまざまなプランをどう考える? — ?

初夏を迎え、そろそろツーリングを行うのには絶好のシーズンに入ってきたところだ。すでにさまざまなプランを立てている人もいることだろう。2019年のツーリングシーズンにおいて重要なのは、実際にプランを実行する時期にあわせた「スタイルの確立」といえるだろう。

「ツーリングシーズン」は実際には半年以上あることから、その時期にあわせた装備をきちんと準備し、万全の態勢で臨みたいところだ。意外にも重要なのは7〜8月にかけての装備の選択だ。この時期、ただ単に暑いだけの話ではなく、実際には突発的なスコールに

見舞われることに気を付けておきたいからだ。最近では「ゲリラ豪雨」としての名称にあるように、短時間での大雨に見舞われる可能性が少なからずあることから、その際に困らない状態の装備にしておきたいところだ。

また、ツーリングにおいてはネイキッドタイプでのライドが多いと思われるが、実際にはさまざまな車種が利用されている。最近では積載量、手軽さなどもあって、スクーターでの長距離ツーリングを行うケースも増えていることも考えておいていいだろう。実際に利用される車種は本当に多いうえで、最近ではレンタルバイクでのツーリングも増え

ている。さまざまな車種でのトライができるメリットがあるため、ときには愛車以外のバイクで走ってみることも考えてはどうだろう。日常とは異なる、新鮮な気分ですツーリングをするのも悪くないところだ。またレンタルバイクの車種が豊富であれば、それによって行きたい場所も増えるだろう。愛車がレーサーの場合、山間部を攻めるのは難しいところだが、オフロードをレンタルしてチャレンジすることも検討することができるといい。

「準備している時間が一番楽しい」ともいわれるのがツーリング、ともいえる。もちろん準備から実際のツーリングライド、そして家に帰るまでのすべてがツーリングといえるところなのだが、さまざまなシーンにあわせたプランを考えながら実行に移してみることをおすすめしたい。



装備周りはきちんと考えておこう。思わぬケガをしてしまう可能性もあることから、<プロテクター>などの装着も考えておきたい。天候の急激な変化に対応できるように、耐水性の高い<ライダーズーツ>もあると便利だ



手軽さもあることから、最近ではスクーターでのツーリングも増えてきている。特にビッグスクーターであれば標準での積載量が多いこと、タンデムのしやすさなどもあり、ちょっとした外出気分でお出かけしやすいところだ



峠を攻めるのであれば、やはり大排気量のネイキッドでいきたいところだ。“ワインディング”を楽しみつつ、メリハリのあるライディングを楽しむのもツーリングの醍醐味といえるところだ



Season of Touring